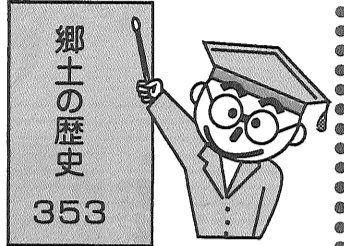


八潮の地名考



大原の地名 その巻

大原 現八潮市大字大原 八潮の地名。

大原は、古綾瀬川の氾濫源の沖積地に位置し、自然堤防上に中世集落が発展、地名の起立は、馬の牧場の牧草地の、大きな原野に因むと言われる(八潮の民俗資料一)。諸史料から大原は、ダイバラとかシモパンバなどと呼ばれて来た地域であった。また、中世から近世の奥古道・下妻道の宿として栄え、ダイバラジユク(大原宿)とも呼ばれた。

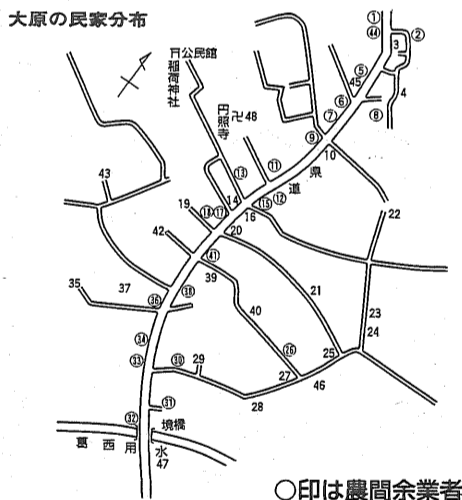
中世の「本土寺過去帳」に見える長享二年(四八八)の「馬場」の内、上中下を付して集落を呼んだ下の集落にあたる。近世初頭のムラギリ(村切り)のおり、シモパンバ(下馬場)村と唱えられたが、「何ノ頃ニカ上中下ノ三村トナシ、其後又下馬場村ヲ大原村ト改メシト云」(新編武蔵風土記稿)と言われる。

大原村は、近世初頭から明治二十二年までの、現八潮市大字大原・八潮の村名。支配は、天正十八年(一五九〇)より徳川領、その後幕府領。寛文二年(一六六二)二月二十二日に森川重

名(下総守)領となり、寛文十一年(一七二〇)に下総守領の内四〇石五斗八升八合が分地され、森川俊勝(主殿)領となる。村の区域は、東西七町・南北一二町の村であった。検地は寛永四年(一六二七)、村高二九六石三斗二升六合で、その内森川主殿知行所が四〇石五斗八升八合・反別六町六反八畝八歩、森川下総守知行所が二五五石七斗三升八合であった。天保六年(一八三三)次の家数四六軒、人別二六〇人、名主は二人制で名主役高三〇石。本所上水潰堀跡が享保十八年(一七五三)に新田開発の検地を受け高三石一斗三合・反別五反六歩で、大原新田と呼ばれ、代官支配地となった(八条領村鑑)。大原は中世の奥古道、近世の下妻道沿いにあり、寛永年間までは宿場として栄えた。寛永七年(一七三〇)頃に草加宿が開設される

と、日光街道の脇道の千住宿・草加宿・松戸宿・八条宿の馬継地となり、大原宿と呼ばれた。正徳五年(一七二五)の千住宿からの馬駄賃は荷物一駄七八文、乗掛荷人七八文、軽尻馬老正五二文、人足老人四三文であった(日光道中宿村大帳)。寺院は真言宗円照寺、開山は不詳で中興が正徳四年(一七二四)寂の祐泉、法流開祖が大曾根村出身の金子氏の祐憲で、明和四年(一七六六)寂、現本堂は文政三年(一八二〇)寂の祐尊が文化三年(一八〇二)に再建したと伝える。明治期の大原村は、明治二年(一八六九)に小菅県、同四年に埼玉県となる。同十二年の郡制により南埼玉郡大原村となり、同二十二年(一八九〇)の町村制により南埼玉郡八幡村の大字となり、現在に至る。

Table with 2 columns: 番号 (Number) and 屋号 (House Number). It lists various house numbers in the area.



文芸欄

詩

孫 伊草 中山靖子
一年前、わが家に赤児が生まれた息子似の小さな目と少しづつでたママの唇をもって、赤児は小さな足に全体重をのせアヒルのようなお尻で突進してきて私の足にしがみつく。そして「パパ、パパ」と言ってみる。赤児の背に家族の目が集まる。眠くなる、負い紐をもってきておんぶをせがむ。私の背でたちまち寝息を立て始める乳の匂う息にうすくような愛しさがこみ上げる。正月が来たとして遊ぶ幼らの影ひとつなき路地の夕映え

鶴ヶ曾根 齊藤道子
光りつつ飛行機雲の昇りゆく大つごもりの西空の果て
南後谷 杉村セツ
除夜の鐘聞きつつ迎えし二〇〇〇年初心に戻り意義ある日ぞ
中央一 猪瀬利助
リストラに山茶花咲けど香り失せ
師走の風は肌を冷たく
南川崎 小野塚喜代子
霧深く視界きかざる山々にしゅう雨走りて明るくなりぬ
柳之宮 平沼良子
彼岸への辿る道かと戒壇をまさぐり歩む漆黒の闇
木曾根 岡村富子
真心に戻り互いの幼癖
白菊香る古稀のうたげは
八潮五 林 悦子
日展に友を誘って訪えは

呉美代選

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならなくても結構です。ぜひお寄せください。【応募先】〒340-8588 八潮市中央一-111 八潮市役所広聴広報課広聴広報係

東山魅夷に黒いリボンあり
二丁目 田中祐子
冬枯れの故郷の野山は静まりて
白鷺数羽温もりており
木曾根 高谷多門
小さな庭の土掘り触れみれば
継がざる農の老いて寂しき
伊勢野 柿沼 清
秋深く紅葉も終えし塩原の
露天風呂への道はしぐれて
二丁目 田中元三
せめてもの明るき年と祈るのみ
世相乱れし世紀末故
二丁目 平井石龍
柚子湯の香櫛よりこぼす四畳半
寅さん像中折れ帽に秋陽影
中央一 山角徹陽
名残り茶にたぎる湯音や寒時雨

脱衣籠山盛りにして寒の入り
八条 杉村知香
ゆさゆさと餅玉姥捧げ来る
冬帽子似合ひし人や髭白く
八潮六 藤崎政子
水仙を活けて放香にたじろぎぬ
八潮五 西森八重子
短日やおカリナの音が五時告げる
鶴ヶ曾根 平本愛子
除夜詣で町の鎮守の大たき火
八潮七 茂村つ留
初春や事なき朝の祝膳
南後谷 松本登喜治
煮凝りの小さき暮し独りかな
木曾根 古根昌明
初春に盤上の駒弾みたり
八潮七 小倉孝義
初参り神酒を賜わる二千年
八潮七 佐藤千和
春日野に日暮淋しや鹿の群れ

緑町五 加藤龍子
切り張りて今年は済ます病み上がり
八潮七 石井忠枝
咳込んで話の続き忘れけり
大曾根 小倉義孝
リストラの息子農継ぎ稲実る
大曾根 横山英道
風を避け日溜りに孫と魚釣る
緑町五 村田恭子
潮風に路の花揺れ伊豆の旅
八潮五 小林 光
木枯しに吹かれて遊ぶ枯葉たち
緑町五 藤波ふみ
枯菊を刈れば根面に子の芽見え
壱 沼野あい
輪になりて見せ合う男女初みくじ
鶴ヶ曾根 齊藤初子
主のなき片方の靴や冬の雨
受験子の四肢すんなりと父を越え

越谷市
○スポーツ講演会
◎2月13日(日)、午後3時開演
開越谷市中央市民会館劇場(東武伊勢崎線越谷駅東口徒歩7分)
□岡崎郁さん(元読売巨人軍)の講演。テーマは「プロスポーツに学ぶ」
◎無料
◎体育課振興係 ☎63-9284

松伏町
○アンサンブルオーケストラ・エローラと合唱の夕べ
◎2月13日(日)、午後4時開演
開中央公民館田園ホール・エローラ(東武伊勢崎線北越谷駅東口からエローラ行きバスで「中央公民館前」下車)
□エローラファンタジー合唱団とエローラ木管五重奏団との共演によるコンサート
◎松伏町文化振興事業団 ☎92-1001

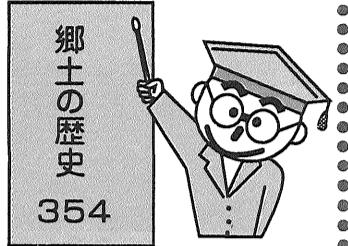
行ってみいたいなとなりまち
近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。

草加市
○第10回草加文化寄席「手話落語」
◎3月12日(日)、午後1時開演
開中央公民館ホール
□手話落語、おどり、手話劇。ゲストに「日本ろう者劇団」、落語家林家とんでん平さん
◎草加市社会福祉協議会 ☎22-1656

吉川市
○バレンタイン in Yoshikawa 2000
一男女共生ってなかに！ともに学びましょう
◎2月13日(日)、午後1時から
開市民交流センターおあしす(JR武蔵野線吉川駅から吉川きよみ野行きバスで「市民交流センターおあしす前」下車)
□浅井えり子さん(マラソンランナー)の講演会、朗読「男女共生推進市民会議」など
◎300人 ※保育あり(事前申し込み)
◎市民参加推進室 ☎82-5111 ☎161

三郷市
○桂歌丸独演会
◎2月13日(日)、午後2時開演
開三郷市文化会館(JR武蔵野線三郷駅北口徒歩13分)
◎3000円(全席指定)障害者割引あり。心のオアシス芸術劇場鑑賞補助券利用の高校生以下の方は750円
◎未就学児の入場はご遠慮ください。
◎三郷市文化会館 ☎58-9900

八潮の地名考²⁹



大原の地名 その式

大字大原 明治二十二年(八)から現在に至る、南埼玉郡八幡村八潮村八潮町、八潮市の大字名。現在の八潮大字大原八潮の地名で、大原の葛西用水北側は、昭和六十一年に八潮と地名変更した。

大原の字地名一覧表

Table with 2 columns: 武蔵国郡村誌(1876) and 八潮町公図(1972). Rows include 東耕地, 苗間耕地, 原田耕地, etc.

十三年六月事業認可の八潮第一土地改良事業で、昭和四十四年二月に大字大原根や坊などの区域と、区域変更を行った。

字東耕地・東 明治初年から昭和六十一年までの字地名。大原の東側に所在することに因む。八條用水西側から下妻道に挟まれる区域で「武蔵国郡村誌」による明治九年の区域は、「村の東方にあり、東西一町南北三町」と記される。

東方にあり、東西二町南北二町(武蔵国郡村誌(番地)の区域で、中馬場字仕込に飛び地が分布していた。地名は、真菰が生息していた荒廃湿地の新田開発に因む。字御殿谷。葛西用水の以南の御殿谷は、古くは大原村の「持添新田」(新編武蔵風土記稿)で、近世初期、江戸城修復の御用茅野がおかれた所に因む地名である。明暦の大火後、新田開発されて御殿谷と呼ばれ、八條用水の分水の御殿谷用水が灌漑していた。御殿谷は、「村の南方にあり、東西二町南北六町」の区域であったが、昭和三十三年の八潮第一土地改良区事業で昭和四十四年から字名を廃止した。

三十三年の八潮第一土地改良事業で、昭和四十四年に大字大原根と区域変更を行い、昭和四十四年から字名を廃止した。字居村耕地・居村 明治初年から昭和六十一年までの字地名。居村は、飛び離れた飛び地を出村と言うのに対して、本村所在の地の住まいが分布することに因む。大原の下妻道の東側の集落地。字の範囲は、「村の中央にあり、東西五町南北一町」(武蔵国郡村誌)の区域。

文芸欄

詩

星下りの駅で 三ヶ島千枝
向かいのホームに
若い母親が赤児を抱いて立ち
しきりに顔を覗いてはあやしている
中年の男はベンチに腰かけて
鉛筆を握り競馬新聞に見入り
ルーズソックスの女子高生が二、三人
足を蹴っては黄色い声を立てている
ぼさぼさ髪の男が
素足にサンダルとゲタをつっかけ
ゴミ箱をあさっていたが、なかから
スーパリーの袋を引きずり出した
何か入っているようだ
そのときホームに電車が入ってきた
やがて電車が走り去ると
ホームは拭かれたように
人一人もいなくなった
(評)情景が巧みに描写されています。

短歌

厚底の靴はき歩む顔黒の
乙女もやがてたらちねの母
日溜りに紅梅白梅咲き盛る
愛でたる人の出棺の刻
武蔵野の雑木林の裸木の
雨々として枝を折ちをり
秋深み銀杏の黄葉は散り敷きて
杜の梢にモズの鳴くなり
病弱の妻の待ちたるサボテンの
蓄色つき今日も開かず
雪解けのぬかるむ道に足とられ
老いし我が身にのびる若き手

呉美代選

坂道に白き水仙並び咲く
楚々と香りをわれを慰む
節分や豆撒く孫の声低く
恥じらう様に成長を見る
二十年成人式の晴着の娘
温故知新を心の糧に
消灯の後もベッドで寝もやらず
寝返りを打つ長き夜なり
姑宛ての一枚だけの年賀状
一文字ずつを大切に読む
風の鳴るふるさとさびし雪原に
群るのスズメの声凍てつきし
はぐれ警女迷いし原も宅地化し
面影もなく語る人無し

俳句

春浅し古里からの母の味
鶴ヶ曾根 平本愛子
挨拶しマスクの老婦人どなたやら
沼野あい
幼子の無心に遊ぶ紙風船
大曾根 日方美代子
庭先の水仙の花挿いけり
大曾根 横山英道
日溜まりのガマ綿飛ばす寒の風
緑町五 藤波ふみ
小春日に鼻唄も出る庭掃除
鶴ヶ曾根 斉藤初子
春寒し講釈長き葉売り
足引いて汚れて戻る恋の猫
肩叩く児の手ほどよく春隣
ご注意下さい。

庭隅に紅の彩あり寒椿
八潮七 茂村つ留
逆さ富士崩し相寄るつがい鴨
大曾根 小倉義孝
競いきて水踏み割る童かな
木曾根 古根昌明
冠雪の富士を残して日の暮るる
小倉孝義
春の雪踏むには惜しき墓詣
八潮七 小倉孝義
一文字ずつを大切に読む
木曾根 高谷多門
群るのスズメの声凍てつきし
二丁目 田中元三
はぐれ警女迷いし原も宅地化し
二丁目 田中元三
面影もなく語る人無し
二丁目 田中元三

松伏町

春休み子ども映画会
3月25日(土)、午前の部=10時上映、午後の部=1時30分上映
開演前部=松伏町中央公民館「田園ホール・エローラ」、午後の部=築比地農村トレーニングセンター
映画「バグズライフ」(94分)
無料※整理券必要(3月1日(木)から松伏町役場教育委員会ほか配布)
松伏町教育委員会 ☎91-1873

草加市

葛西用水沿いの桜並木
4月上旬が見ごろです!
開松原団地駅から八潮団地行き「南青柳」下車、徒歩3分。
葛西用水沿いの両側に1300メートルにわたる、樹齢約25年の桜並木が続きます
草加市観光協会(商工課内) ☎22-0151
3662

行ってみたいなとなりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。



三郷市

第9回三郷市美術協会展
4月2日(日)~9日(日)、午前10時~午後6時(2日は午後1時~6時、9日は午前10時~午後5時、3日は休館日)
三郷市文化会館(三郷北口から徒歩13分)
三郷市美術協会員の絵画、彫刻などの作品を展示
三郷市文化会館 ☎57-2511

越谷市

越谷市情報公開講演会
3月17日(金)、午後7時から
開越谷市中央市民会館4階研修室(越谷駅東口徒歩7分)
「より開かれた市政の実現をめざして」講師: 獨協大学法学部教授・右崎正博さん
無料(事前に下記まで電話で申し込み)
越谷市情報公開室 ☎63-9136

吉川市

親子で楽しむ人形劇
3月26日(日)、午後2時開演
開吉川市児童館ワンダーランド(吉川駅から徒歩10分)
劇団小さいお城公演「飛べ!ドラキュラ」
無料(先着150人)
児童館ワンダーランド ☎81-6811